



バドミントン愛知

No.
168

令和7年5月 発行者／愛知県バドミントン協会 編集者／広報委員会

第60回愛知県社会人バドミントン選手権大会

令和7年1月18日に北スポーツセンターにおいて男女单・混合複の2種目が、1月25日に緑スポーツセンターにおいて男女複が開催され熱い戦いが繰り広げられた。今大会は全日本シニア愛知県予選会を兼ねている。

●一般男子シングルス

池端 元哉 (豊田通商)	21 - 12 21 - 7	毛利 栄光 (豊田自動織機)
-----------------	-------------------	-------------------

午後8時、静かな体育館でお互い冷静に決勝戦は始まった。

1ゲームの立ち上がり、毛利選手のヘアピンがネットによく決まりリードする。お互い1点ずつ取り合うシーソーゲームとなるが、池端選手が的確にコーナーヘラリーを続け7ポイント連続得点でリードを広げる。そのまま押しきり1ゲームをとる。

2ゲーム目に入ると、池端選手がクロスヘアピンやカットスマッシュで流れをつかんだままリードしてインターバルに入る。その後もミス少なくゲームを有利に進め、最後は毛利選手のタイミングを外すカットを放ち、優勝を決めた。



池端元哉選手

●一般女子シングルス

吉田 菜那 (豊田通商)	21 - 18 21 - 15	北原 千凡 (トヨタ自動車)
-----------------	--------------------	-------------------

1ゲーム目は、北原選手がロングサービスを多用して、吉田選手を前後に動かし序盤をリードする。吉田選手も粘り強くラリーを続け15-15に追いつく。終盤、北原選手のアウトの見極めが甘くなり、最後はカットがネットにかかり吉田選手が1ゲーム目をとる。

2ゲーム目も、始めはお互い競った展開となるが、中盤、北原選手は準決勝をファイナルゲームで勝ち上がってきただけでなく…屈伸などをしてしきりに足を気にする様子。必死に追いかけようとするが最後は足が止まり、北原選手のレシーブがサイドラインを割りゲームオーバー。吉田選手は昨年に続き連覇を果たした。



吉田菜那選手

●一般混合ダブルス

稲葉 琢人・松井 あかり (FLIGHT)	21 - 12 21 - 23 21 - 19	真鍋 幹太・吉田 凪沙 (SMAGAN)(岩倉パラレル)
--------------------------	-------------------------------	---------------------------------

1ゲーム目は、両ペアの女子が積極的に前に前に攻めてスピード感あるラリーが続く。中盤以降、真鍋・吉田ペアがミスでリードを許し、稲葉・松井ペアが1ゲーム目をとる。

2ゲーム目も稲葉・松井ペアは息の合ったプレーでリズムよくゲームを進めていたが、真鍋・吉田ペアがマッチポイントを握られながらも激しく追い上げ、ついにセッティングに持ち込みこのゲームを取り返し最終ゲームへ突入する。

ファイナルゲームは、お互い一步も譲らない好ゲームとなり、両ペアとも楽しんでプレーをしている様子。最後はわずかにシャトルがバックラインをオーバーして、勝利の女神は稲葉・松井ペアに微笑んだ。



(左)稲葉琢人選手 (右)松井あかり選手

(広報副委員長 鈴木勝男)

●一般男子ダブルス



優勝 大谷啓斗・大谷唯斗ペア

●一般女子ダブルス



優勝 鈴木いよ乃・来川琴葉ペア

第60回愛知県社会人バドミントン選手権大会

◇優勝者

	男子シングルス	女子シングルス	男子ダブルス	女子ダブルス	混合ダブルス
一般	池端 元哉(豊田通商)	吉田 菜那(豊田通商)	大谷 唯斗/大谷 啓斗 (RHBT/紫電会)	鈴木 いよ乃/来川 琴葉 (豊田通商)	稻葉 琢人/松井 あかり (FLIGHT)
30歳以上	矢野 崇也(SMAGAN)		樋渡 元志/稻川 義樹 (WISTARIA/RS NONAKA)	鈴木 香純/小林 史奈 (NOT-SOY/岩倉パラレル)	天野 宏紀/中村 唯菜 (東海クラブ/WISTARIA)
35歳以上	中口 竜郎(はりーあっぷ)		鈴木 陵麻/深尾 淳 (はりーあっぷ)	國田 佳子/平松 あかね (Oh my gut/スペースシャトル)	鈴木 陵麻/鈴木 仁見 (はりーあっぷ)
40歳以上	桂 秀典(豊田自動織機)	竹内 友香(MUSCLE CLUB)	中居 聖/粉山 正貴 (岩倉パラレル/岐大BC)	山本 愛子/田中 扶有美 (横須賀クラブ/TSUTSUMI)	鎌田 正幸/尾上 千里 (ATOM/個人登録)
45歳以上	吉川 功次郎(WISTARIA)	鈴木 理子(個人登録)	野口 誠/中島 正人 (Oh my gut/貴船)	外山 真理子/高倉 あゆみ (横須賀クラブ/RHBT)	西脇 康彦/山台 まみ (グリーンクラブ/TSUTSUMI)
50歳以上	山脇 克泰(ハネツキ会)	篠原 里美(Mille-Feuille)	桑野 篤史/大竹 達裕 (紫電会)	大津 順子/中林 明子 (Cuckoo)	桑野 篤史/野々山 千恵子 (紫電会/poona)
55歳以上	近藤 豊(Hiiragi)	木下 伸子(BUTCHERS)	藤野 洋和/梶田 秀明 (RHBT/紫電会)	高田 美和/松永 周子 (三好/貴船BC)	藤野 洋和/近藤 志津 (RHBT/Leaders)
60歳以上	田中 章裕(豊川高校教諭)		浜崎 久義/越田 佳之 (AISIN AW)	樋口 祐子/竹内 ひろみ (Cuckoo)	船木 勝正/小池 由紀子 (DAIMON/B-CREW)
65歳以上	塩澤 源市(個人登録)		湯海 鵬/金平 実 (LOVEALL)	門間 由美子/森本 千恵子 (豊田/個人登録)	川原 雅治/水野 恵以子 (名北クラブ/SETOMINTON)
70歳以上	佐々木 淳(名北)	鈴木 信子(三好)	佐々木 淳/川原 雅治 (名北)	西本 民子/村上 啓子 (春日井/小牧)	上前 茂人/佐野 信子 (DAIMON/BEARS)
75歳以上			百々 俊宗/坂本 和親 (ヤングシルバー/東海シャトルズ)		

◇準優勝者

	男子シングルス	女子シングルス	男子ダブルス	女子ダブルス	混合ダブルス
一般	毛利 栄光(豊田自動織機)	北原 凡千(トヨタ自動車)	稻葉 琢人/井原 弘貴 (FLIGHT/紫電会)	渡瀬 千尋/小山 未来 (トヨタ自動車)	真鍋 幹太/吉田 凪沙 (SMAGAN/岩倉パラレル)
30歳以上	甲斐 圭太(デンソー)		矢野 崇也/金子 真之 (SMAGAN)	東 景子/和田 彩夏 (BudBud)	村本 亮汰/和田 彩夏 (個人登録/BudBud)
35歳以上	竹内 裕詞(KOKACARE)		松尾 純次/中口 竜郎 (はりーあっぷ)	山台 まみ/野村 さやか (Tsutsumi)	佐藤 大樹/佐藤 瞳 (Oh my gut)
40歳以上	立松 幹浩(東海クラブ)	山本 宏美(MTB)	守永 健太/山下 健 (個人登録/東海シャトルズ)	丹羽 裕美/石井 真喜 (BudBud)	野々山 進一/山本 愛子 (49's/横須賀クラブ)
45歳以上	下島 直樹(フレスカ)	深谷 雅代(Sweet)	濱本 昌也/北川 剛 (SMAGAN/RHBT)	高木 昌美/森 亜由美 (MUSCLE CLUB/RHBT)	濱本 昌也/外山 真理子 (SMAGAN/横須賀クラブ)
50歳以上	永田 一郎(Oh my gut)	斎藤 まどか(BUTCHERS)	長瀬 寿一/久木田 佳裕 (風林火山)	峰 悅子/野々山 千恵子 (Cuckoo/poona)	清水 誠司/清水 真実 (振甫クラブ)
55歳以上	梅村 敦司(愛三工業)	濱田 明日香(poona)	若井 泉/中根 正芳 (NANZAN/DAIMON)	濱田 明日香/森岡 明美 (poona)	杉山 誓英/山根 洋子 (BUTCHERS/中川シャトル)
60歳以上	森本 順(名北)		岩渕 信司/新田 正喜 (BS. MORITA)	小池 由紀子/伊藤 綾子 (B-CREW/MOKUREN)	成瀬 達吉/井口 勢津子 (DAIMON/中川シャトル)
65歳以上	米本 勝知(DAIMON)		下源 茂巳/金澤 秀昭 (東海シャトルズ)	水野 良子/杉本 美佐子 (小牧/大府)	加藤 元久/加藤 典子 (中川シャトル)
70歳以上	荒井 和夫(桜井BC)	渡辺 洋子(岡崎フェニックス)	岸 邦晴/嶋田 政志 (名北/アイシンAW)	中谷 えみ子/塚崎 良子 (尾張旭/稻沢)	武田 正雄/武田 京子 (実業団連盟/刈谷)
75歳以上			園部 繁夫/小林 文雄 (東海シャトルズ/フレスカ)		

第146回令和7年度春季愛知県新人バドミントン大会

4月12日、名古屋市名東SCにて、第146回令和7年度春季愛知県新人バドミントン大会ダブルスが行われた。

●男子ダブルス

ベスト4を社会人ペアで占めた中、福岡・石谷(久野金属)組が頂点に立った。

決勝の田中・萩原(MenChan's/Jumsma)組との対戦は、両チームとも社会人らしい強烈な攻撃と鋭い切り返しなどで一進一退の好ゲームになった。

福岡・石谷組は1ゲーム目、2ゲーム目とも先行されながらもしぶとく中盤で追いつき、後半は流れに乗り突き放して栄冠を掴んだ。

「優勝できてよかった」(福岡)「劣勢から逆転の優勝はうれしい」(石谷)と喜びを噛みしめていた。



福岡未来翔・石谷凌一ペア(久野金属)

●女子ダブルス

準決勝で同チーム対決を制して決勝に駒を進めた佐藤・万年(Be strong Jr.)組が、社会人の安藤・大場(岩倉パラレル)組との対戦を制した。

キャリアのある対戦相手との長いラリーに耐え、佐藤の左利きの利点を生かしたクロスマッシュや、万年の安定した守備と球回しで終始ゲームを圧倒した。

「決勝までうまくゆかず不安だった」(万年)「優勝へのプレッシャーが大きかった」(佐藤)と語ったが、試合中は二人とも終始笑顔で清々しい勝利だった。

(広報委員 松浦孝至)



万年美澄・佐藤彩乃ペア(Be strong Jr.)

4月20日、日鉄体育館にて、第146回令和7年度春季愛知県新人バドミントン大会シングルスが行われた。

●男子シングルス

決勝は、ウイスターJr安藝選手との準決勝を、速いタッチの攻撃をしかけて勝ち上がった石川選手(はりーあっぷジュニア)と、堅実な守備と相手(豊橋中部中の星野選手)を走らせる球回しで準決勝を制した田中選手(Menchan's)の対戦となった。

田中選手が堅実にコートをカバーしコントロールの効いたショートレシーブを見せるが、石川選手はスピードにのって決め切るまで動き続けるプレーで1ゲーム目をとる。2ゲーム目序盤は「(田中選手が)ジャンプして飛びつくタッチに苦しんだ」石川選手がリードを奪われたが、後半に入り、攻撃をされても丁寧にミスなくつなぐことに気持ちを切り替え、終盤の逆転を呼び込み、ストレート勝ちを収めた。「緊張して動けなかった」と振り返る今大会だが、同世代の対戦となった準々決勝を乗り越えたことで波にのり、優勝まで一気に駆け抜けた。



石川剛選手
(はりーあっぷジュニア)

●女子シングルス

上位を占めたBeStrongJr.の中から勝ち上がった竹内選手と、大村選手(高蔵寺中)が決勝で対戦した。速いドリブンクリアで相手を押す竹内選手が第1ゲームを危なげない展開でとる。「ラリーを続け、ミスをしないことを心がけた」という大村選手が、強打をしのぎ、クロスショットの攻撃を交えながら、得点を重ね第2ゲームを取り返す。

迎えたファイナルゲーム。疲れも見えたが、竹内選手が強打を繰り出しながらリードを保ってゲームを進め、20-19に。追い込まれた大村選手だったが「無心だった」と振り返るように高い集中力を見せて追いつく。ラリーの末のチャンスでは、丁寧にバック側に打ち下ろして決めていき23-21の僅差で、大村選手が逆転勝ちを収め、優勝の栄冠を手にした。



大村蒼乃選手(高蔵寺中)

(広報委員 中村圭吾)

第12回愛知県市町村対抗小学生バドミントン交流大会

3月1日(土)安城市東祥アリーナ安城にて、第12回愛知県市町村対抗小学生バドミントン交流大会が行われた。上級の部・初級の部とも学年別で全8種目があり、各市町村別に集まつた選手たちが普段とは違うチームメイトたちと優勝を競つた。

上級の部では、愛知県トップクラスの選手たちが全国大会さながらの手に汗握る熱い試合を見せたり、普段はライバルのペア同士4人がお互いのペアとダブルスを組み、息の合つた??試合を展開したりと、見ているこちらもドキドキしながら楽しませてもらった。

また、初級の部では初めて大会に出る選手もいて、思うようにラリーが出来ず涙したり、初ダブルスでどうしたらよいかわからないまま試合が終わつてしまつたりと様々であったが、「週に1度の練習でうまくはないけど、試合はすごく楽しかった。また出たい」という選手、「すごく上手な選手がいた。あんなふうになりたい」と目を輝かせて話す選手、いつもは接することのない他チームの上級の部の選手と「お友達になれた!」と喜ぶ選手もいて、チームの垣根を超えた市町村対抗ならではの交流ができ、とても和やかな大会だった思う。

(小学生連盟 鈴木由紀江)



大府

JR 大府駅西口徒歩 8 分

はりーあっぷ

代表 中口直人

TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

バドミントンプロショップ
リーダース グループ

SINCE1979

名古屋一社

地下鉄一社南出口より徒歩 2 分

(有)リーダース

代表取締役 斎田修光

TEL・FAX(052)703-2767

理事長通信

愛知県バドミントン協会
理事長 井上 龍



年度末を迎え1年を振り返ると、今年度も小学生の全国大会での活躍が顕著でした。

7月若葉カップ、8月ABC大会、12月全国小学生では団体戦、個人戦ともに素晴らしい成績を収めました。小学生連盟の選手、指導者および役員の皆様を心より祝福いたします。

来年度も引き続きジュニアの選手に対する強化策を重点事業として掲げてまいります。

小学生に加え、学校教育から地域活動への移行が進みつつある中学生への強化活動も力をいれて推進していく所存です。また、愛知県アスレチックトレーナー協議会の協力を得て、今年度から取り組みを開始したケガ予防および選手の特性に合わせた体づくりも継続実施し、競技技術、フィジカル両面でジュニア選手を応援してまいります。

2月に日本バドミントン協会から発表された日本代表選手として、愛知県から一般ではジェイテクトチームより4人、U16で7人、U13で3人が選出され、来年度の活躍が大いに期待されます。

さて、今年度は2026年度のアジア・アジアパラ競技大会準備のため多くの体育館で修繕工事があり、試合会場が予約しづらい状況により第1種大会(全国大会)を誘致できませんでしたが、来年度は、一宮市でアジア・アジアパラ競技大会のリハーサル大会として、S/Jリーグ開幕戦を11月に開催する予定です。日本代表を含むトップレベルの選手たちが繰り広げる熱い戦いを楽しみにしてください。

フットワーク

この欄は、連載のコーナーとして県内各チームの紹介や
その他の記事を皆さんに続けてお届けしています。

今回は

岩倉パラレル

を紹介します。

岩倉パラレルは、社会人クラブで活動しています。岩倉市を中心とした「岩倉市体育協会」の名前で、社会人連盟発足時からの参加。草創期は、みんなでスキーにいく仲のよいメンバーで構成されていて、チーム名は、ロッジでスキーの「パラレルターン」にちなんで決められました。今では「イワパラ」の略称で定着しています。

当初は、岩倉市で練習をする選手を中心に始めたチームですが、「リーグ戦に参加したい」、「社会人になんでも向上したい」という県内各地や岐阜の選手が加入したこと、大所帯のチームに成長しました。今は、男子3チーム、女子3チーム、シニア1チームの計7チームで活動をしています。

練習は普段は特に集まらないのですが、年に何回か10面のアリーナを貸し切って練習会・親睦の大会を行っています。様々なチームの選手が集まつくる練習会で、ボーダレスな活動です。

現在の成績は、男子は2部の上位で活躍し、1部復帰をうかがっています。女子は2チームが1部に所属するという勢いです。丹羽選手・角田選手が軸になるチームは上位をキープし2位まできました。競うように関口選手が核となったチームも躍進し、ついに優勝しました。

また、様々な年代の選手が上位を狙って頑張るのもチームの特徴です。70代で数々のタイトルを手にし続けた近藤一男選手、30代で上位をキープし続けた中居聖選手、今年、社会人クラブ全国大会35歳の部で3位入賞した仲川俊也選手など、それぞれの生活に合わせながら、目標に向かって頑張っています。

個の目標をもった人が核になってチームを引っ張る、それが「イワパラ」です。



市町村だより

● 知多市スポーツ協会バドミントン部 ●

令和7年1月5日(日)メディアス体育館ちたにて、新春恒例の混合ダブルスを実施しました。

新春の挨拶、親睦が第一の目的の大会ながら、いざ試合が始まると勝負魂に火がつくのか、たくさんの熱戦が繰り広げられました。

一般は昨年より13チーム多く、42チーム84人の参加。同時にジュニアのダブルスの試合も実施し、25チーム50人の参加がありました。

種目	優勝	準優勝	3位	
混合ダブルス 松(1部)	森田 貴士 二宮 由佳 (けっぽれ)	仲川 俊也 大山紗於里 (けっぽれ)	田中 崇悟 田中 愛美 (つじ)	
混合ダブルス 竹(2部)	藤井 哲也 田瀬 史佳 (ベストミントン)	水野 隆博 山本 寛子 (たきび)	近藤 克樹 加藤 佑奈 (ヨーギラス)	
混合ダブルス 梅(3部)	黒住 渉 桐田ひとみ (Tam Tom)	大谷 勇太 浅沼久美子 (新田クラブ)	相馬 秀記 田中 直美 (つじ)	岩田 恒夫 平岩美代子 (GBクラブ)
混合ダブルス 桜(4部)	賀生 季隆 竹之下千晴 (ジュニアG)	坂本 和親 野田ほのか (つじ)	安田 隆司 山本 佳美 (ゆっくりバド)	
6年以下男子 ダブルス	池尾 嶋太 竹之下大悟 (知多J)	浅田 弥隼 西 玲杜 (知多J)	柴本 丞真 安島 巧 (知多J)	
6年以下女子 ダブルス	池山 紗弓 早川 莉秀 (新知J)	兵藤 彩 近藤 恵美 (新知J)		
5年以下男子 ダブルス	今井 陽馬 濱野 晃斗 (新知J)	恒川 遼太 石田 鴻空 (八幡)		
5年以下女子 ダブルス	櫛田 唯愛 櫛田 怜愛 (八幡)			
4年以下男子 ダブルス	深川 雅晴 今井 奏馬 (新知J)	近藤 巨 清水 友稀 (知多J)		
4年以下女子 ダブルス	堀越 優希 立岩 真衣 (新知J)	高田 純生 桑山ひなた (八幡)		



勝つための本物

GOSEN
www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社/TEL.06-7175-7116 FAX.06-6201-0741

編集後記



新年度が始まりました。

新しい環境や出会い、目標計画など、楽しみで期待が膨らみます。

バドミントンでも、新しい学校やクラブチームへ行くと少しドキドキしますよね。でもそれは成長するチャンス!チームメイトや先輩、後輩と新しい関係が始まることが多いです。

また、新年度に立てた目標(例えば、新しいショットに挑戦する計画)に向かって頑張ることもワクワクしますね。

さあ、皆さんにとっての新年度は、どんなワクワクやドキドキが待っていますか?

(広報副委員長 鈴木勝男)

連絡
投稿

〒453-0851
名古屋市中村区畠江通6-14
広報委員長 浅井 淳(あさい じゅん)

公式サイトアドレス
<https://www.badminton-aichi.com/>

Eメールアドレス
info@badminton-aichi.com



西三河のバドミントン専門店

モリアスポーツ

豊田市山之手3丁目100番地
☎ <0565> 29-0055

スポーツごころを世界に。

YONEX